

学力向上アクションプラン(玖珠町)

目標及び指標

【目標】	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の基礎基本の更なる徹底 ○小学校と中学校の連携及び中学校間の連携の構築 	
達成指標	取組指標
○全国調査・県調査で、全ての教科で県平均をこえた学校数 小学校(5/7) 中学校(4/6)	○学力向上支援教員公開授業を全教員が1回以上参観し、公開授業で参考になった事項を自校で環流を行う。(100%) 全教員が「めあて・課題・まとめ・振り返り」を位置づけた授業を実施する。(100%) ○学力向上支援教員の中学校への他校訪問での授業観察による助言・支援(各支援教員5回以上)
○中学校区での小中連携会議を年間3回以上開催している中学校区(6/6)	○小中連携会議に関する計画書及び報告書の作成と提出(100%) * 計画書は小中間の互見授業及び相互参加授業の実施及び学力向上に向けた小・中共通の指導項目(学習規律・家庭学習・9年間を見通した指導内容の共有など)をテーマにした具体的な取り組みを明確して作成する。 ○教務主任会の開催(3回)
○中学校間の合同教科部会の実施回数(6回)	○中学校校長会を開催して、計画の作成・実施 * 近隣の学校間による合同教科部会の開催日及び実施内容(授業研究、指導案作成、評価問題作成)を計画書に記載する。

行動計画

①「中学校学力向上対策3つの提言」の実施に関して

- 1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底
 - 教務主任会を開催(4月)して、「新大分スタンダード」についての周知徹底
 - 国語・数学・理科の教科別研修会を実施し、生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業を充実させる。
 - 学力向上支援教員の他校訪問による授業観察と授業観察後の助言・支援
 - 校内研修への指導主事の派遣(各校3回以上)→この中で「新大分スタンダード」の徹底
 - 学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を高める指導をテーマにした研究推進校の指定
 - 習熟度別指導教員による「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業の実施
- 2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築
 - 中学校校長会において、近隣の学校との合同教科部会の開催計画を策定
 - 新中学校開校に向けた「教育活動部会」の教科別部会において、指導案や評価問題等の作成を行う。
 - 「町内共有フォルダ」による指導案や資料の交流
- 3 「生徒と共に創る授業」の推進
 - 生徒による授業評価を行っている先進校の取り組みを校長会及び教務主任会で報告を実施し、各学校の授業評価に役立てる。

※低学力層底上げに関する取組(英語科)

町英語確認テストの実施(年間4回:6月、10月、12月、2月)

内容:語彙の定着を町全体で分析を行い、語彙定着に向けた授業改善や補充学習、家庭学習の充実を図る。

②小学校の授業改善の取組について

- 「新大分スタンダード」に基づく授業観察シート等を活用した管理職の授業観察の実施
- 教職員の互見授業の実施
- 学力向上支援教員の他校訪問による授業観察と授業観察後の助言・支援
- 校内研修への指導主事の派遣(各校3回以上)→この中で「新大分スタンダード」の徹底
- 学習語彙定着のための小学校学習語彙集(町作成)の活用【国語・算数・理科】
- 学習語彙プレートの活用【国語・算数・理科】
- 「町内共有フォルダ」による指導案や資料の交流

③家庭・地域と連携した学力向上の取組について

- 寺子屋教室の実施・・・年間35回、4小学校、2～4年生対象
- 放課後子ども教室の実施・・・4小学校、年間30日前後、1年生～6年生
- 「中央公民館」「自治会館」「わらべの館」の講座での、土曜学習の実施
- 家庭教育講演会の実施・・・保護者の家庭教育力の向上に向けて
- 学校運営協議会で「学力向上」をテーマにした熟議の実施